

府中市健康地域づくり審議会
第17回熟年元気づくり分科会 報告書

1 分科会の概要

- (1)日 時：平成30年10月3日（水）15時00分から16時30分まで
(2)場 所：市役所4階第二委員会室
(3)出席者：宮 口 英 昭（分科会会長） 橘 高 積（分科会副会長）
重 森 由 枝（分科会委員） 前 原 裕 吉（分科会委員）
藤 本 命 壮（分科会委員） 守 屋 綾 子（分科会委員）
樽 好 美 子（分科会委員）
(4)欠席者：谷 秀 樹（職 権 委 員）

2 概要

(1)開 会

(2)分科会会長あいさつ

(3)議事

①熟年元気づくり分科会について

●関係資料の説明

事務局から「政策指標・重点項目の概要について」について、資料により説明を行った。

②生きがい創業ビジネス補助金及びプラチナ大学事業について

●関係資料の説明

事務局から「生きがい創業ビジネス補助金」及び「プラチナ大学事業」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

・生きがい創業ビジネス補助金について

○起業の申請が減少している。要綱の見直しも必要ではないか。

○申請をどうやったらいいか分からないという声もあるので、申請を後押しする体制を整えていく必要がある。

○事業が継続できるような支援体制も必要。

- ・プラチナ大学事業

- 日中よりも夜間のほうが参加しやすい。

- プラチナ大学でビジネス補助金の交付団体の報告をしてもらうことで、どんなことが出来るのか感じてもらうてはどうか。

③育児・家事支援への高齢者派遣等事業の制度の構築及びコミュニティ・キッチン の開設支援について

●関係資料の説明

事務局から「育児・家事支援への高齢者派遣等事業の制度の構築」及び「コミュニティ・キッチンの開設支援」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- ・育児・家事支援への高齢者派遣等事業の制度の構築

- 高齢者派遣等事業というと手を出しにくい印象がある。事業内容を再検討したほうが良いのではないか。

- 公民館等で少し子どもをみてもらえるような支援者を、町内会等と連携してまずは取り組んでみてはどうか。

- コミュニティ・キッチン事業の中で、子どもの預かりもやるような連携をしたほうが取り掛かりやすいのではないか。

- 行政としてどのように進めていくか方向性を出して頂きたい。

- ・コミュニティ・キッチンの開設支援

- 育児・家事支援への高齢者派遣等事業とあわせて取り組むほうが取り掛かりやすいのではないか。

④次年度施策の方向性について

●関係資料の説明

熟年元気づくり分科会の平成31年度の取り組みについて、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- ・熟年元気づくり分科会の平成31年度の取り組み
 - 補助金をもらいたい人から申請を受けるのではなく、役所の方から頑張っている人に声をかけて支援する方法はないか。
 - シルバー人材センターに対するニーズはあるが、入会する人が増えない課題がある
 - 育児家事支援とコミュニティ・キッチンを精査しなおすにあたって、取り組みが分散しないように。
 - 他の分科会との連携や、商工会議所等の機関や資源と連携することも有用。

(4) 閉会

事務局のまとめとして、「生きがい創業ビジネス補助金」、「プラチナ大学」、「育児・家事支援への高齢者派遣等事業」、「コミュニティ・キッチンの開設支援」へのご指摘・ご意見等を期中報告としてまとめ、審議会への報告事項とする旨を述べた。

橘高副会長から、「30年度の前期における進捗は順調ではないが、本日いただいた意見を活かし、早いうちに具体案を示していただきたい。具体的なものがあれば議論もより具体的になるので、提示いただきながらよりよいものにしていければと思う。」と挨拶があり、閉会とした。